

令和3年度

久留米市雇用優良事業所

障害者
雇用優良
事業所

障害者雇用優良事業所

株式会社 北斗開発

■業種／総合警備業 ■常用労働者数／157人(男性152人、女性5人)
■所在地／久留米市梅満町92番地1

取り組み内容

- 障害がある人を3人雇用し、障害者の法定雇用率を2年連続で上回っている。
- 障害がある人を積極的に雇用し、かつ、その定着状況が良好である。

身体状況に合わせて 個々の能力を発揮できる業務体制を構築

警備業務を請け負っている株式会社北斗開発では、重度の障害がある1人、軽度の障害がある2人を雇用しています。現場には必ずチームで派遣することで、本人の不安を和らげ、フォローをやすくしています。

「障害の程度や状況も一人一人違います。必ずしもフルタイムではなく、個々の状況に合わせて働ける範囲で能力を発揮できる現場に配置し、私達と一緒に社会に貢献してもらえたらと考えています。周りに感謝、従業員に感謝、お客さまに感謝です」

そう話す永延城平代表取締役は、時には隊員(従業員)に差し入れをしながら日々現場を回っています。



代表取締役
ながのぶ じょうへい
永延 城平さん



▲警備部業務課長の甲木さん(左)と下田さん(右)

足に障害がある下田さんは、登下校の時間に青パト(青色回転灯付防犯パトロール車)の助手席に乗車してパトロールを行い、令和元年にはその活動に対して、同社が公益社団法人福岡県防犯協会連合会の防犯功労団体として表彰を受けました。不法投棄監視員、市役所やハローワーク駐車場の警備なども経験しています。「体調や足の調子などの体の状況に応じて働ける部署に速やかに変更していただき感謝しています。警備中に通行人が増えてくると、周りの隊員が『大丈夫?』と、気に掛けてくれます。無事にパトロールを終えた時に達成感を感じます」と、話します。

聴覚に障害がある警備部業務課長の甲木^{かつき}さんは、人事担当の事務職。「警備は人や物、命を守る仕事。そんな重要な仕事に日々当たり前で携われることに感謝しています」と、話します。

内部機能に障害がある従業員は、工事現場の交通誘導の業務で、その勤務態度が評価され、先方の建設会社から表彰を受けています。定期的に病院で診察を受けるためシフトが配慮されており、それについて他の社員への理解がなされています。



▲下田さんがパトロールを行う
青色回転灯付
防犯パトロール車



▲株式会社 北斗開発外観